

—市政の発展に貢献された個人・団体を表彰— 令和3年度市政功労者表彰式

本庄市市政功労者表彰式



年頭のごあいさつ



本庄市長 吉田 信解

新年明けましておめでとうございませぬ。令和4年の輝かしい新春を健康にてお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、まずは、新型コロナウイルス感染症と引き続き向き合った一年でありました。変異ウイルスの出現等による感染の再拡大、また、これに伴う緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置により、われわれの日常生活は制限され、経済も大きな痛手を負いました。

世界的には、変異株の拡大など新型コロナウイルスの感染収束が見通せない中、国内ではワクチン接種の推奨などが功を奏し、感染拡大の第5波は急速に収束しました。本市においても、(一社)本庄市児玉郡医師会の協力のもと、希望される方の多くがワクチン接種を終えましたが、変異株や第6波に備え、感染症対策をしっかりと続ける必要があります。

コロナ禍の影響により、各種イベントで開催の延期・中止が相次ぐ中、万難を排して一年越しの開催に至った東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、前例のない無観客開催など感染症対策を講じながら行われ、さまざまな意見のある中で成功裏に閉会しました。同大会では、本庄市にゆかりのある新井千鶴選手(県立児玉高校出身)や小

久保寛太選手(県立本庄特別支援学校出身)の活躍も記憶に新しいところです。

また、大会に先立つ聖火リレーでは、世界最古の自転車といわれる「陸船車」が、街地から藤田地区の滝岡橋までをランナーと自転車がつなぎ、オンラインを含め多くの市民の皆さまに見守られながら盛大に行われました。コロナ禍でホストタウンとしての役割は思うように果たせませんでした。トルコ共和国、また、同国の障害者スポーツ団体とは深い絆がありました。

さて、昨年は、令和2年10月に開催し、半年間で来館者1万人を達成した本庄早稲田の杜ミュージアムの記念セレモニーの開催、郷土の偉人塙保己一没後200周年を記念するイベントの開催など、これまでの積み重ねの中から生まれてきた明るい話題もありました。

また、昨年4月に締結した「電気自動車を活用したSDGs連携協定」、5月に行った「本庄市ゼロカーボンシティ宣言」、9月に策定した「本庄市緑の基本計画」といった環境にやさしいまちづくりにへの取組は、持続可能な地域社会の実現に不可欠と考えております。本年は、本庄市全域にわたるまちづくりの基本方針である「本庄市都市計画マ

スタープラン」、同プランに基づき持続可能な都市の実現を目指す「本庄市立地適正化計画」について、時代に即した見直しを進めてまいります。さらに、昨年パブリックコメントを実施した「本庄駅北口周辺整備基本計画」を推進し、長年の課題解決に向けて本格的に動き出す年となります。これら本市の将来像を示すまちづくりの諸計画について、地域や事業者の皆さまと共に考え、持続可能なまちづくりを進めてまいります。

一方、アフターコロナを見据えて地域経済社会の活性化を図りながら、希薄となっている人と人とのつながりを今一度取り戻し、ともに支えあう地域コミュニティの再構築についても考えてまいります。

従来からの課題である少子高齢社会への対応、増加する自然災害への備えなどに加え、コロナ対策や世界的な気候変動など、我々は行動変容を余儀なくされていきます。

「世のため、後のため」、時代とともに変化することを恐れず、安全・安心で持続可能なまちづくり、そして市政の進展に専心努力いたします。皆さまのご健康とご多幸をご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

市では、市民の生活・文化の向上や社会福祉の増進など、市政に対して特に功労があり、他の模範となる人を表彰しています。11月21日に市役所で、市政の発展に貢献された皆さんに市長が表彰状を手渡しました。

受賞者(敬称略)・受賞者名簿順

自治功労

江原 貞治
金井 都代
飯塚 庸雄
松井 孝

消防防功労

大澤 義治
田島 雅也
茂呂 諭
山崎 誠
吉岡 進

教育文化功労

田邊 晶子
永尾 路子

保健功労

岡本 潔

社会福祉功労

赤沼 博美
浅見 芙美子
芦澤 吉一
今井 和男
加藤 勝利
高橋 慎二
田邊 晶子
松島 善江
茂木 秀夫
太田 行信

青少年健全育成功労

飯塚 二三子

体育功労

岩崎 信裕
門倉 道雄
春山 康壽

環境衛生功労

岩瀬 孝
大場 昇
白田 茂
田島 栄作
出牛 幸平
中林 一弘
堀口 隆
吉野 光好
赤城乳業株式会社

市の公益功労

故 福島 保房
前澤 友作

※ご本人の希望により4名のお名前の公表を控えています。